

2024年12月期 第1四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'A' and 'G'.

AGC株式会社

2024年5月8日

Your Dreams, Our Challenge

AGC

2024年12月期 第1四半期業績	—————	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	—————	P.5
2. セグメント別・地域別の状況	—————	P.12
2024年通期業績の見通し	—————	P.23
付属資料	—————	P.30

2024年12月期第1四半期業績

	前年同期比	
売上高	4,987 億円	+95億円
営業利益	241 億円	▲101億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	▲210 億円	▲430億円

- 売上高は建築ガラスや化学品の苛性ソーダ・塩化ビニル樹脂の販売価格が下落したものの、為替の増収効果や電子の売上増加により前期比増収
- 営業利益は原燃材料価格が下落したものの、上述の販売価格下落等により前期比減益
- 親会社の所有者に帰属する当期純利益は、ロシア事業の譲渡に伴うその他費用が発生した影響もあり、前期比減益

2024年12月期通期見通し

	前期比	
売上高	21,000 億円	+807億円
営業利益	1,500 億円	+212億円

- 2024年2月発表時の業績見通しから変更なし

2024年12月期 第1四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目

2024年12月期 第1四半期業績

* うち、為替差影響は+360億円、連結範囲変更の影響は▲21億円

(億円)

		FY2023 1Q	FY2024 1Q	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高		4,892	4,987	+ 95 [*]	(+) 円安 (+) 電子部材や液晶用ガラス基板の出荷増加 (-) 建築用ガラスの販売価格下落 (-) 苛性ソーダ、塩ビの販売価格下落
営業利益		342	241	▲ 101	(+) 原燃材料価格の下落 (-) 上記の販売価格下落等
税引前利益		366	▲ 63	▲ 429	上記に加え、 (+) 為替差益を計上 (-) ロシアでの建築ガラス・オートモーティブ事業譲渡によるその他費用の計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		221	▲ 210	▲ 430	
為替レート (期中平均)	1USD	JPY 132.34	JPY 148.61		
	1EUR	JPY 142.10	JPY 161.31		
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	80.32	81.29		

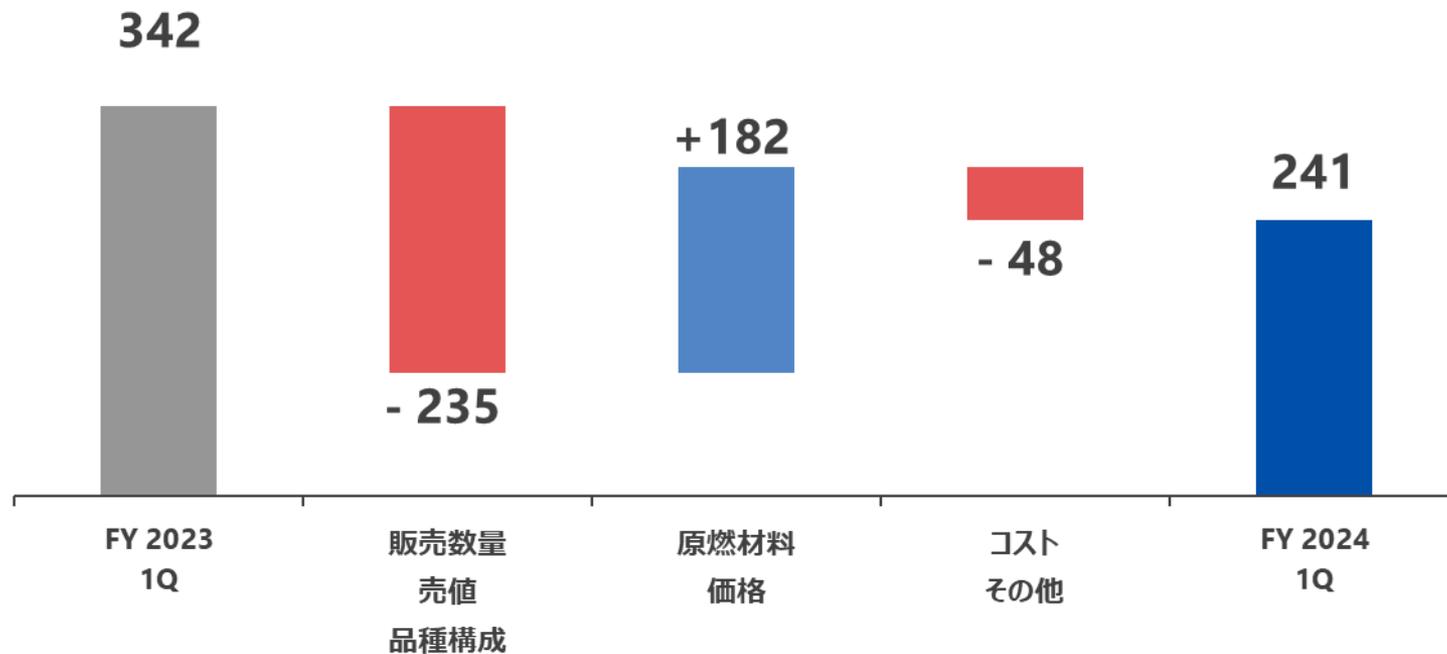
セグメント別業績 前年同期比較

(億円)

	FY2023 1Q (a)		FY2024 1Q (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	1,205	93	1,103	42	▲ 103	▲ 51
 オートモーティブ	1,184	48	1,242	48	+ 57	▲ 0
 電子	702	19	825	72	+ 123	+ 53
 化学品	1,410	172	1,436	136	+ 27	▲ 36
 ライフサイエンス	332	6	325	▲ 63	▲ 7	▲ 69
 セラミックス・その他	199	6	199	6	▲ 0	▲ 0
消去	▲ 141	▲ 2	▲ 143	0	▲ 2	+ 2
連結合計	4,892	342	4,987	241	+ 95	▲ 101

前年同期比 101億円減益

(億円)



	2023/12	2024/3	(億円) 増減	
現金及び現金同等物	1,461	1,230	▲ 230	
棚卸資産	4,541	4,544	+ 3	
有形固定資産・無形資産及びのれん	16,312	16,750	+ 439	為替差影響 +457億円
その他	7,017	7,373	+ 356	
資産合計	29,330	29,898	+ 568	為替差影響 +732億円
有利子負債	6,950	6,614	▲ 336	
その他	5,836	6,013	+ 176	
負債の部	12,787	12,627	▲ 159	
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,471	15,129	+ 658	
非支配持分	2,073	2,141	+ 69	為替差影響 +487億円
資本の部	16,543	17,271	+ 727	
負債及び資本合計	29,330	29,898	+ 568	
D/E比率	0.42	0.38		

連結キャッシュフロー計算書

1Q	(億円)	
	FY2023	FY2024
税引前利益	366	▲ 63
減価償却費及び償却費	424	455
運転資金増減	▲ 387	▲ 103
その他	▲ 102	386
営業活動によるCF	301	676
投資活動によるCF	▲ 471	▲ 227
フリーキャッシュフロー	▲ 170	449
有利子負債増減	460	▲ 473
支払配当	▲ 233	▲ 223
その他	▲ 168	▲ 4
財務活動によるCF	58	▲ 700
現金等に係る換算差額等	35	21
現金等の増減額	▲ 76	▲ 230

キャッシュアウトを伴わない
関係会社の売却による
損失の影響

+365億円

関係会社の売却による
キャッシュインの影響

+219億円

1Q	FY2023	FY2024
設備投資額	487	544
建築ガラス	56	50
オートモーティブ*	48	53
電子	107	125
化学品	204	231
ライフサイエンス	67	76
セラミックス・その他	4	10
消去	▲ 1	▲ 0

1Q	FY2023	FY2024
減価償却費	424	455
建築ガラス	58	61
オートモーティブ*	77	84
電子	128	130
化学品	123	131
ライフサイエンス	34	45
セラミックス・その他	5	5
消去	▲ 0	▲ 0

(億円)

1Q	FY2023	FY2024
研究開発費	136	144

主な設備投資案件

- 東南アジアクロールアルカリ能力増強 (化学品)
- 電子部材関連製造設備増強 (電子)
- バイオ医薬品・合成医薬農薬CDMO能力増強 (ライフサイエンス)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- ディスプレイ製造窯修繕 (電子) など

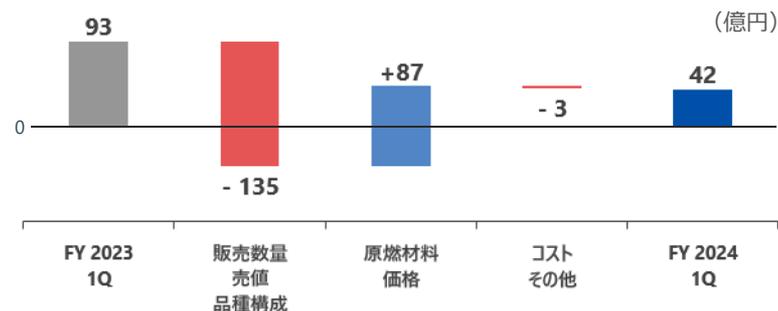
2. セグメント別・地域別の状況

1Q	FY2023	FY2024	増減
売上高	1,205	1,103	▲ 103*
アジア	373	352	▲ 21
欧米	831	746	▲ 85
(セグメント間)	1	5	+ 3
営業利益	93	42	▲ 51

* うち、為替差影響は+104億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

営業利益増減要因分析



アジア

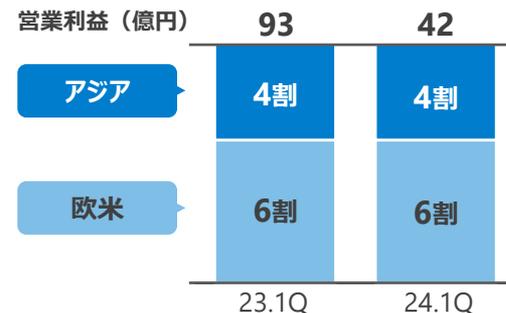
- 全ての地域で出荷が減少したことにより減収

欧米

- 為替による増収効果はあったものの、欧州で販売価格が下落したことにより減収

営業利益 構成比

共通費配賦前



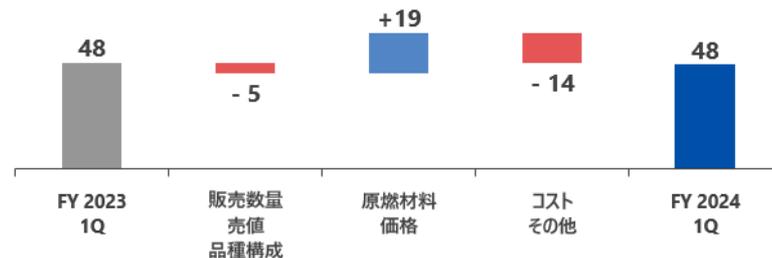
1Q	FY2023	FY2024	増減
売上高	1,184	1,242	+ 57*
オートモーティブ	1,183	1,240	+ 57
(セグメント間)	1	1	+ 0
営業利益	48	48	▲ 0

* うち、為替差影響は+103億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

営業利益増減要因分析

(億円)



自動車用ガラス

- 日本や欧州等で自動車生産台数が減少したことにより、当社グループの出荷は減少
- 為替による増収効果や販売価格の上昇があり増収

1Q	FY2023	FY2024	増減
売上高	702	825	+ 123*
ディスプレイ	358	428	+ 70
電子部材	341	394	+ 54
(セグメント間)	4	3	▲ 1
営業利益	19	72	+ 53

* うち、為替差影響は+28億円、連結範囲変更の影響は▲16億円 (億円)

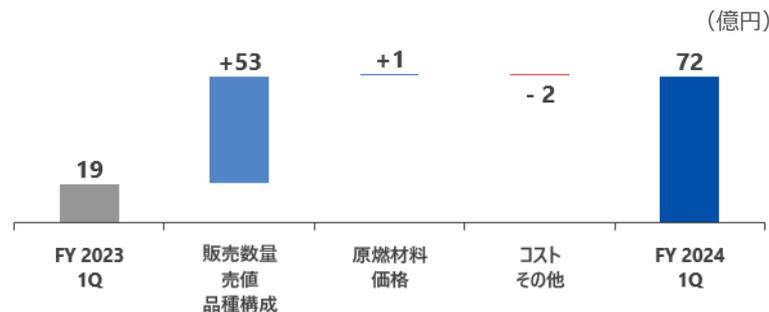
ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板の出荷増加や販売価格上昇等により増収

電子部材

- EUV露光用フォトマスク blanks等の半導体関連製品の出荷が増加したことに加え、為替の効果もあり増収

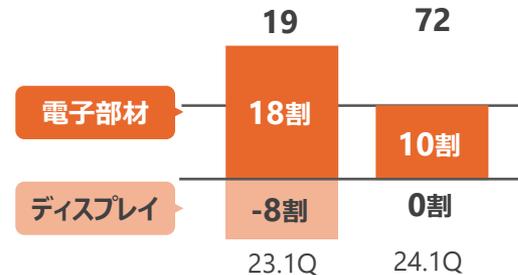
営業利益増減要因分析



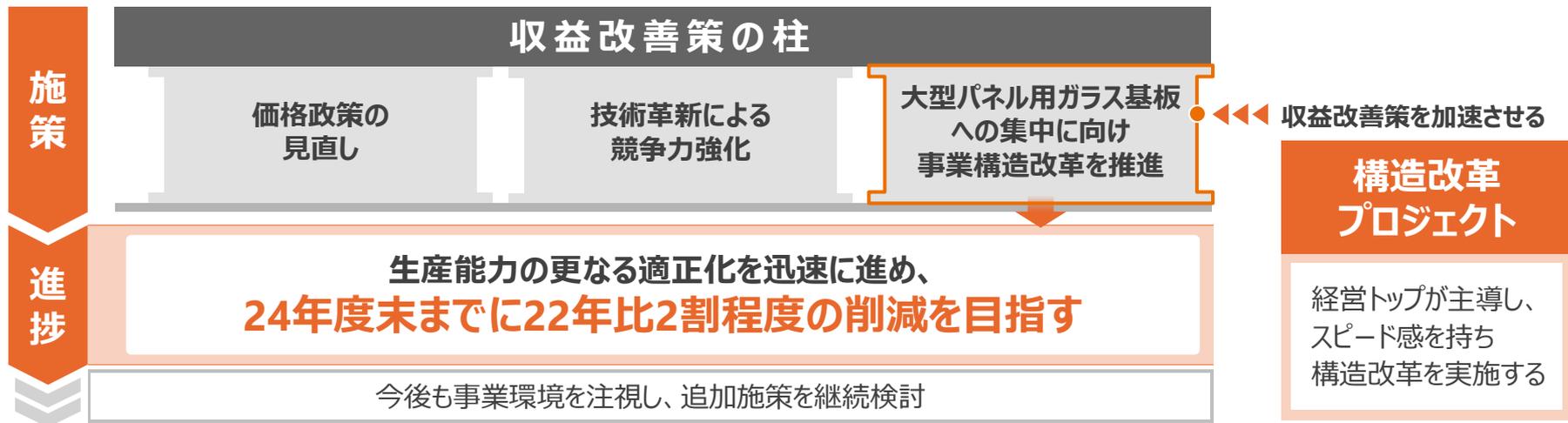
営業利益 構成比

共通費配賦前

営業利益 (億円)

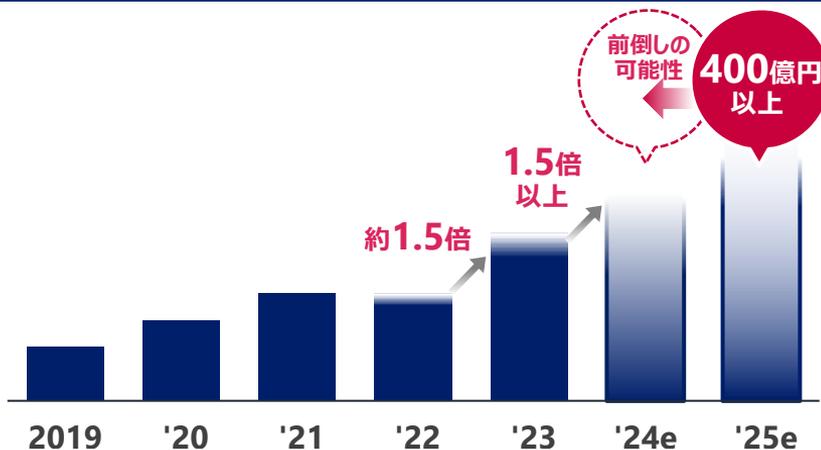


- CFOをトップとするプロジェクト体制で、従来の収益改善策をよりスピード感を持って着実に遂行
- 2023年から進めてきた生産能力の適正化を加速し、2年間で2割程度*を削減
- 今後も事業環境を注視し、追加施策を継続検討
- 今中期経営計画期間中にディスプレイ事業のROCE 10%達成を目指す



- EUV露光で量産中の半導体デバイスメーカー4社すべてに供給中
- 当初目標の2025年売上高400億円以上は1年前倒しで達成の可能性
- 最先端の各世代向け開発を、半導体デバイスメーカーと協力しながら積極的に推進
(□ジック3nm向け次世代品では、2023年にTSMC社と共同で研究発表済*)

売上高



技術開発

露光機のスループットや解像度を向上できる次世代品を、半導体デバイス世代・露光機のモデル毎に開発

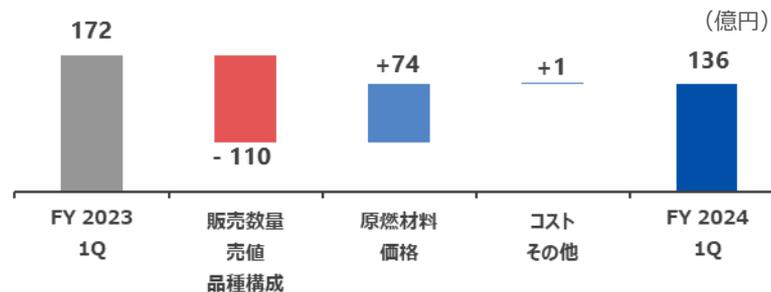
デバイス世代	露光機	AGCの開発状況
□ジック 7~2nm DRAM D1Z~D1C	Low NA (NA0.33)	開発完了
□ジック 1.4~0.7nm DRAM D1D~D0X	High NA (NA0.55)	開発中
□ジック <0.7nm	Hyper NA (NA>0.7)	開発中

1Q	FY2023	FY2024	増減
売上高	1,410	1,436	+ 27*
エッセンシャルケミカルズ	1,009	1,005	▲ 4
パフォーマンスケミカルズ	391	421	+ 29
(セグメント間)	9	10	+ 1
営業利益	172	136	▲ 36

* うち、為替差影響は+92億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

営業利益増減要因分析



エッセンシャルケミカルズ

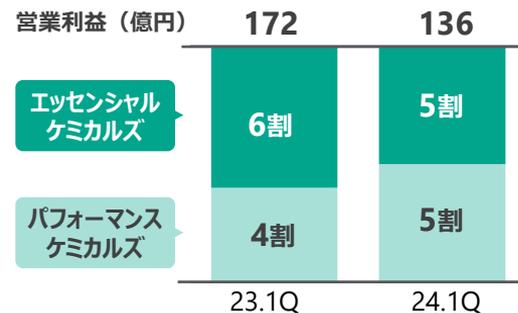
- 為替による増収効果があったものの、苛性ソーダ、塩ビの販売価格が下落し、売上高は横ばい

パフォーマンスケミカルズ

- 销售价格の上昇や為替の効果により増収

営業利益 構成比

共通費配賦前



1Q	FY2023	FY2024	増減
売上高	332	325	▲ 7*
ライフサイエンス	321	309	▲ 12
(セグメント間)	11	16	+ 5
営業利益	6	▲ 63	▲ 69

* うち、為替差影響は+29億円、連結範囲変更の影響はなし

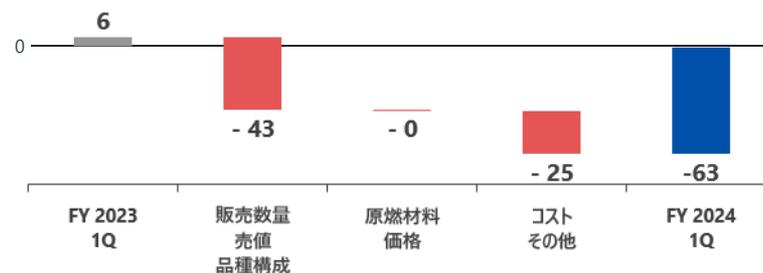
(億円)

ライフサイエンス

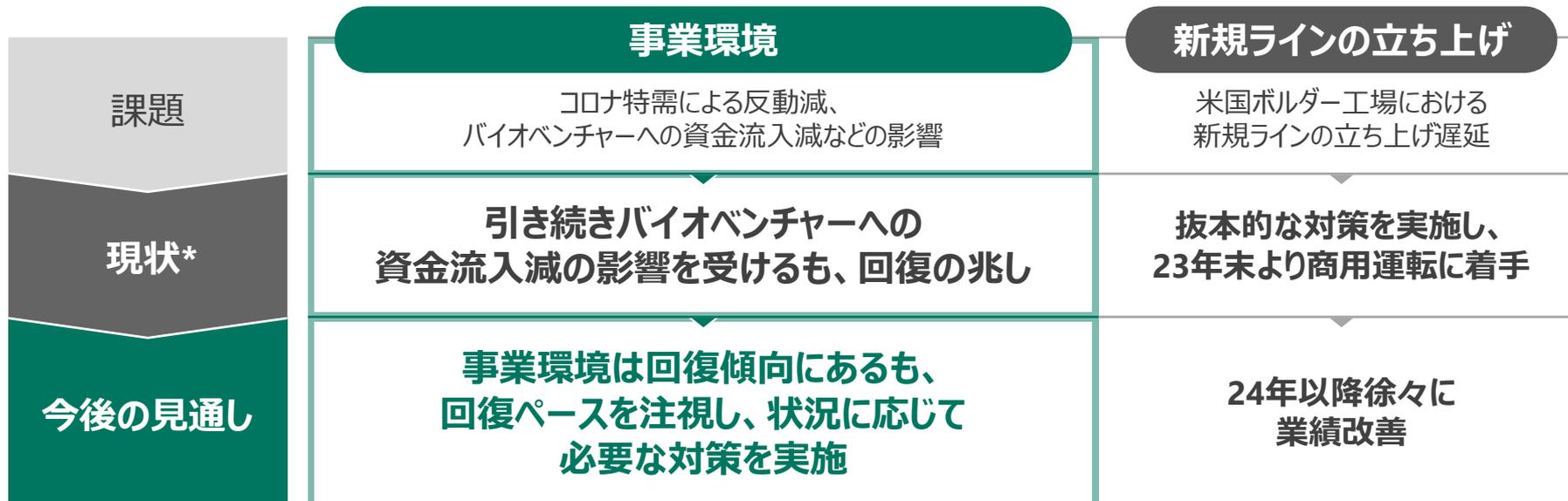
- コロナ特需の消失、バイオベンチャーへの資金流入減、農薬市場の在庫調整の影響等により減収
- バイオ医薬品CDMOにおける能力増強に伴う先行費用等が発生

営業利益増減要因分析

(億円)



- バイオベンチャー資金流入減の影響が継続。事業環境は回復傾向にあるも、**回復のペースについては注視が必要**。今後の状況を見極め必要な対策を進める
- 米国新規ラインは**商用運転を再開し、24年から業績改善に寄与**

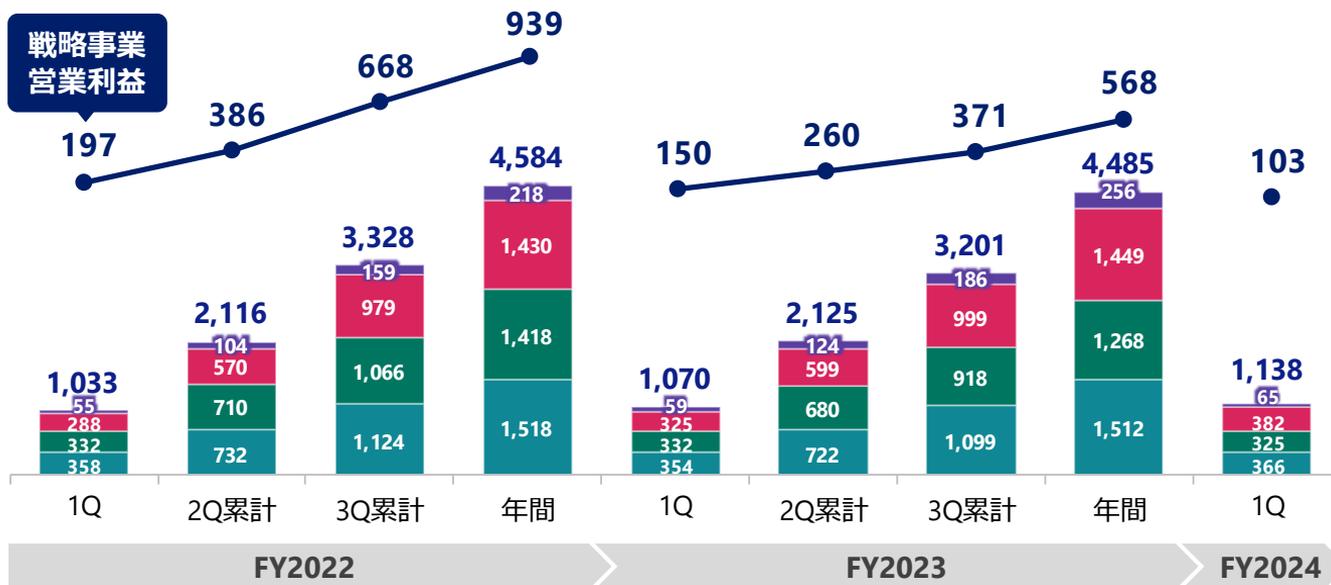


戦略事業の利益貢献

- エレクトロニクスの半導体関連製品やパフォーマンスケミカルズの販売は堅調も、バイオ医薬品CDMOの収益悪化により前年同期比減益

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向けの高付加価値品

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材

ライフサイエンス

- 合成医薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO

パフォーマンスケミカルズ

- 多業界向け高機能フッ素製品

地域別業績 前年同期比較

1Q	FY2023	FY2024	(億円) 増減
売上高	4,892	4,987	+ 95
日本・アジア	2,998	3,046	+ 48
アメリカ	530	631	+ 102
ヨーロッパ	1,364	1,310	▲ 55
営業利益	342	241	▲ 101
日本・アジア	326	354	+ 28
アメリカ	0	▲ 31	▲ 31
ヨーロッパ	128	42	▲ 86
地域共通費用	▲ 112	▲ 124	▲ 11

為替差影響
+360億円

連結範囲変更の影響
▲21億円

2024年通期業績の見通し

2024年 通期業績見通し

■ 2024年2月発表時の業績見通しからの変更なし

(億円)

		FY2023	FY2024e
売上高		20,193	21,000
	(上期)	9,853	10,000
営業利益		1,288	1,500
	(上期)	643	600
税引前利益		1,228	1,050
親会社の所有者に帰属する当期純利益		658	530
1株当たり配当 (円)		210	210
営業利益率		6.4%	7.1%
ROE		4.6%	3.7%*
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 140.6	JPY 140.0
	1 EUR	JPY 152.0	JPY 160.0
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	82.1	85.0
エチレン (CFR SEA)	USD/MT	889	980

* FY2024予想のROEは、2023年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

セグメント別 売上高・営業利益見通し

(億円)

	FY2023 (a)		FY2024e (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,763	328	4,600	300	▲ 163	▲ 28
 オートモーティブ	4,997	218	5,100	230	+ 103	+ 12
 電子	3,132	184	3,300	330	+ 168	+ 146
 化学品	5,741	648	6,200	600	+ 459	▲ 48
 ライフサイエンス	1,268	▲ 124	1,400	30	+ 132	+ 154
 セラミックス・その他	834	33	800	10	▲ 34	▲ 23
消去	▲ 542	1	▲ 400	0	+ 142	▲ 1
連結合計	20,193	1,288	21,000	1,500	+ 807	+ 212

2024年 見通し



建築ガラス

アジア

- 高断熱・遮熱ガラスの需要拡大などにより、当社の出荷は堅調に推移

欧米

- 景気低迷に加え、ロシア事業譲渡による減収影響を受けるものの、エネルギー削減のための高断熱ガラスへの置き換え需要が当社の出荷を下支え



オートモーティブ

- 自動車生産台数及び当社グループの出荷は、23年並み。また、価格政策や従来より取り組んでいる構造改革の効果が発現



電子

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板は収益改善策の推進に加え、需要の回復により収益が改善
- ディスプレイ用特殊ガラスはスマートフォン市場の回復及び当社の主要なお客様からの受注が拡大し、出荷が増加

電子部材

- EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連製品は出荷が増加
- オプトエレクトロニクス用部材はスマートフォン市場の回復により、出荷が堅調に推移

2024年 見通し



化学品

エッセンシャルケミカルズ

- 東南アジアの需要は堅調に推移するものの、中国経済低迷により市況回復に時間を要することを懸念

パフォーマンスケミカルズ

- 半導体向け、輸送機器向けフッ素関連製品の需要増により、出荷が増加



ライフサイエンス

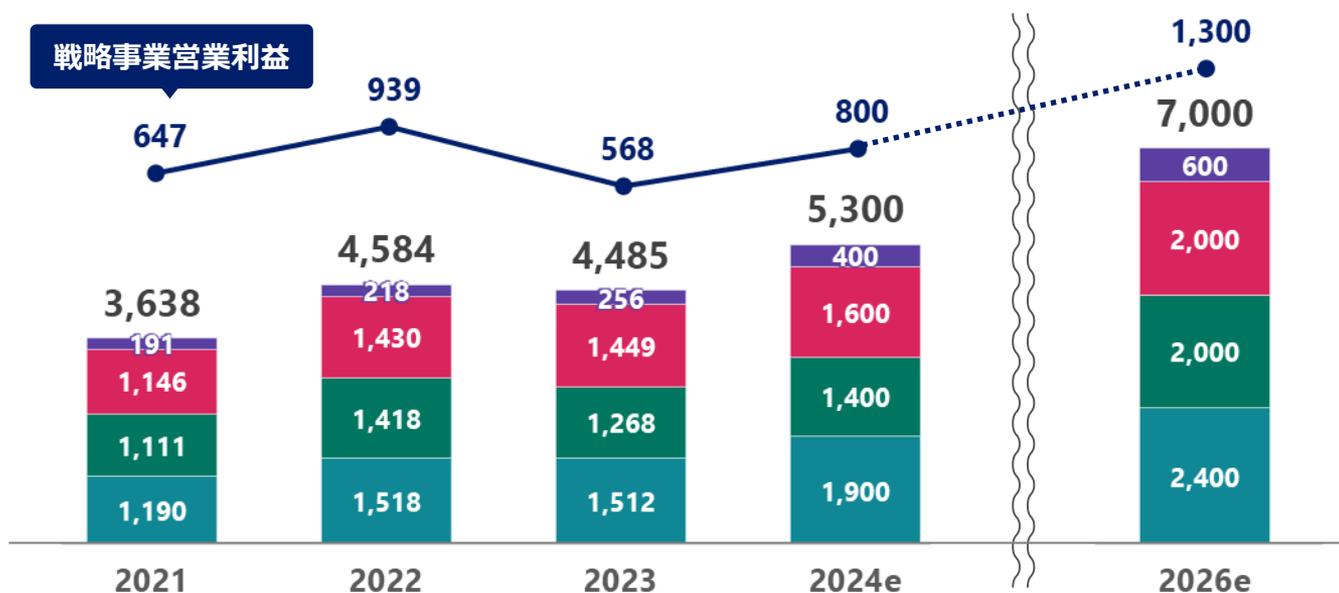
- 合成医農薬CDMOの受託売上は23年並みの見込み
- バイオ医薬品CDMOは、立ち上げが遅延していた米国新規ラインの商用運転が再開する一方、バイオベンチャーへの資金流入の回復状況は注視

戦略事業の見通し

- バイオ医薬品CDMO事業の事業環境回復ペースを注視する必要があるが、2024年2月発表時の見通しを変更せず

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向けの高付加価値品

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材

ライフサイエンス

- 合成医薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO

パフォーマンスケミカルズ

- 多業界向け高機能フッ素製品

設備投資額・減価償却費・研究開発費の見通し

年間	FY2023	FY2024e
設備投資額	2,317	2,500
建築ガラス	247	350
オートモーティブ	263	200
電子	514	400
化学品	877	1,160
ライフサイエンス	399	370
セラミックス・その他	18	20
消去	▲ 1	0

年間	FY2023	FY2024e
減価償却費	1,753	1,850
建築ガラス	244	250
オートモーティブ	319	340
電子	532	550
化学品	501	530
ライフサイエンス	139	170
セラミックス・その他	21	10
消去	▲ 2	0

(億円)

年間	FY2023	FY2024e
研究開発費	573	600

主な設備投資案件

- 東南アジアクロールアルカリ能力増強 (化学品)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- バイオ医薬品CDMO能力増強 (ライフサイエンス)
- 電子部材関連製造設備増強 (電子) など

付属資料

セグメント別 ROCE・EBITDA

(億円)

	営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産	
	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023
 建築ガラス	327	328	566	572	10.9%	10.6%	3,000	3,100
 オートモーティブ	▲ 98	218	227	537	▲3.0%	6.4%	3,300	3,400
 電子	147	184	830	715	2.6%	3.1%	5,650	6,000
 化学品	1,261	648	1,736	1,148	23.3%	10.4%	5,400	6,200
 ライフサイエンス	169	▲ 124	284	15	6.7%	▲4.3%	2,500	2,900
 セラミックス・その他	37	33	56	55	18.4%	16.7%	200	200
消去ほか	▲ 3	1	▲ 4	0	—	—	—	—
合計	1,839	1,288	3,696	3,041	9.2%	5.9%	20,050	21,800

営業利益に対するインパクト



為替

1%円安で

6億円*増益

*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の影響額



原油

1バレルあたり

1ドル上昇した場合

2.8億円*減益

*ヘッジ影響除く



化学品
市況

① 苛性ソーダ

国際市況が\$1上がると**\$1M**の増益

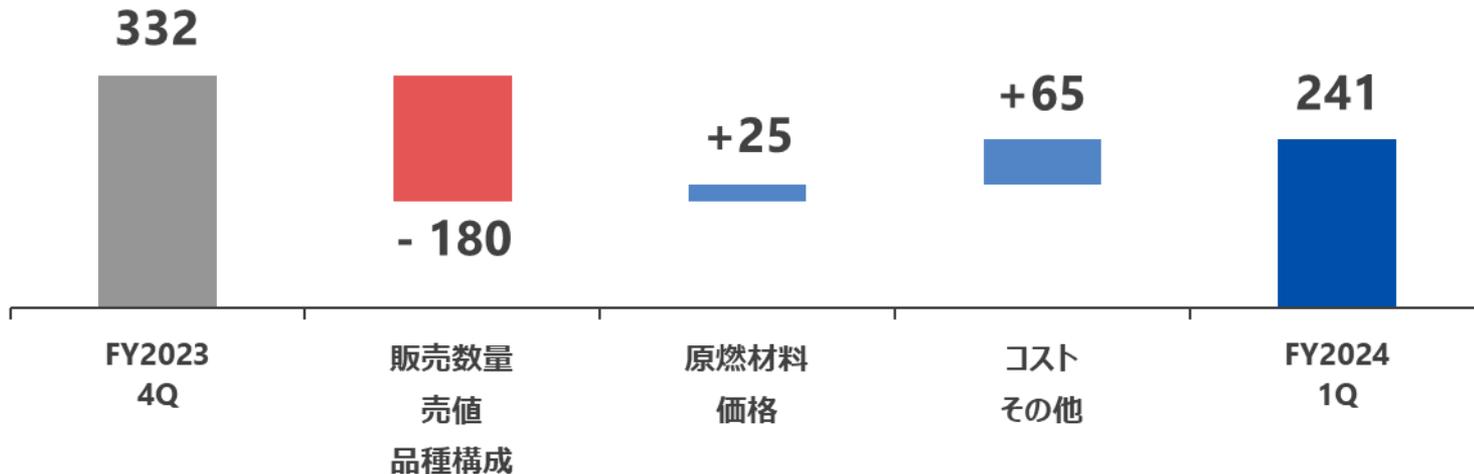
② 塩ビスプレッド

\$1上がると**\$1.2M**の増益*

*塩ビスプレッド：塩ビ市況－（エチレン市況×0.5）

前四半期比 91億円減益

(億円)



売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	1Q .FY2024	352	68	678	5	1,103
	1Q .FY2023	373	72	758	1	1,205
 オートモーティブ	1Q .FY2024	582	280	377	1	1,242
	1Q .FY2023	602	224	358	1	1,184
 電子	1Q .FY2024	696	124	2	3	825
	1Q .FY2023	617	78	4	4	702
 化学品	1Q .FY2024	1,269	81	75	10	1,436
	1Q .FY2023	1,243	84	74	9	1,410
 ライフサイエンス	1Q .FY2024	57	78	175	16	325
	1Q .FY2023	79	72	170	11	332
 セラミックス・その他	1Q .FY2024	89	-	2	108	199
	1Q .FY2023	85	-	-	115	199
消去	1Q .FY2024	-	-	-	▲ 143	▲ 143
	1Q .FY2023	-	-	-	▲ 141	▲ 141
合計	1Q .FY2024	3,046	631	1,310	-	4,987
	1Q .FY2023	2,998	530	1,364	-	4,892

建築ガラス	1Q.23	2Q.23	3Q.23	4Q.23	1Q.24	(億円)
売上高	1,205	1,192	1,150	1,216	1,103	
アジア	373	386	401	424	352	
欧米	831	802	745	785	746	
(セグメント間)	1	5	4	7	5	
営業利益	93	93	83	59	42	
オートモーティブ	1Q.23	2Q.23	3Q.23	4Q.23	1Q.24	
売上高	1,184	1,223	1,255	1,335	1,242	
オートモーティブ	1,183	1,221	1,255	1,335	1,240	
(セグメント間)	1	1	1	0	1	
営業利益	48	54	59	56	48	
電子	1Q.23	2Q.23	3Q.23	4Q.23	1Q.24	
売上高	702	717	835	878	825	
ディスプレイ	358	425	418	406	428	
電子部材	341	290	414	468	394	
(セグメント間)	4	2	3	4	3	
営業利益	19	11	69	85	72	

化学品	1Q.23	2Q.23	3Q.23	4Q.23	1Q.24	(億円)
売上高	1,410	1,418	1,428	1,486	1,436	
エッセシャルケミカルズ	1,009	999	1,002	1,018	1,005	
パフォーマンスケミカルズ	391	407	414	457	421	
(セグメント間)	9	13	12	11	10	
営業利益	172	137	170	169	136	
ライフサイエンス	1Q.23	2Q.23	3Q.23	4Q.23	1Q.24	
売上高	332	348	238	350	325	
ライフサイエンス	321	346	235	337	309	
(セグメント間)	11	2	3	13	16	
営業利益	6	▲ 1	▲ 83	▲ 46	▲ 63	

数量・価格動向

				2023				2024
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
前年同四半期比 (YoY)								
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	-1割弱	-1割	-数%	+1桁半ば	-10%台半ば
			価格	+約3割	+約3割	+3割弱	+2割強	+1桁半ば
	欧州	数量	-10%台半ば	-10%台半ば	-数%	-1桁半ば	横ばい	
		価格	+3割弱	-約1割	-約4割	-4割	-3割強	
	自動車生産台数 (S&P global 4/5データより)	日本	数量	+13%	+27%	+13%	+12%	-12%
		北米	数量	+10%	+15%	+8%	+6%	+0%
欧州・ロシア		数量	+18%	+17%	+8%	+8%	-4%	
電子	ディスプレイパネル需要* (Omdia社)	グローバル	面積	-15%	+4%	+11%	-5%	+2%

* Source : Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 4Q23 Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

		IFRS				
		19/12	20/12	21/12	22/12	23/12
売上高	百万円	1,518,039	1,412,306	1,697,383	2,035,874	2,019,254
営業利益	百万円	101,624	75,780	206,168	183,942	128,779
営業利益率	%	6.7	5.4	12.1	9.0	6.4
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	44,434	32,715	123,840	△ 3,152	65,798
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	3.9	2.9	10.2	△ 0.2	4.6
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	4.4	3.1	7.9	6.7	4.5
自己資本比率	%	50	44	49	49	49
D / E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.47	0.63	0.41	0.41	0.42
営業CF / 有利子負債	倍	0.32	0.29	0.54	0.33	0.31
一株当たり当期純利益 (EPS)	円	200.85	147.84	559.11	△ 14.22	304.73
一株当たり配当金	円	120	120	210	210	210
EBITDA *3	百万円	231,857	208,459	383,226	253,209	315,965
為替レート (期中平均)	円/ドル	109.05	106.82	109.80	131.43	140.56
	円/ユーロ	122.07	121.81	129.89	138.04	152.00

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

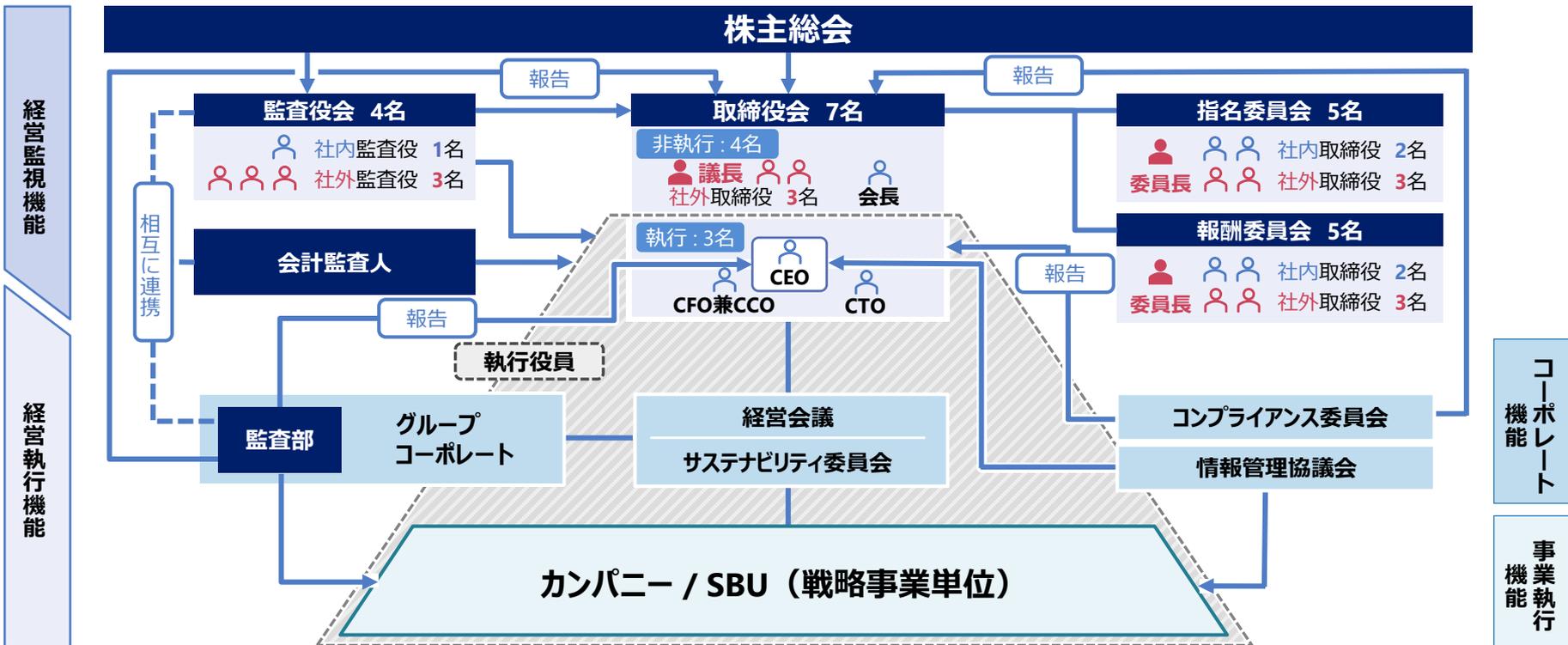
AGCグループの提供する社会的価値

- これまでAGCは、社会・産業の発展に貢献することで事業を拡大し、社会的価値を創出してきた



当社のコーポレートガバナンス体制の概要図

👤 : 社内出身の取締役又は監査役 👤👤 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役



 FTSE4Good	FTSE4Good Index Series に選定
 FTSE Blossom Japan Index	FTSE Blossom Japan Index に選定
 S&P/JPX カーボン エフィシエント 指数	S&P/JPXカーボン・エフィシエント 指数に選定
 CDP DISCLOSER 2023	CDP気候変動レポート2023 A-評価
 SCIENCE BASED TARGETS <small>DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION</small>	SBTi 温室効果ガス削減目標 「WB2°C」認定取得

 NIKKEI Smart Work ★★★★ 2024	「第7回日経スマートワーク 経営調査」4星の格付けを獲得
 GOLD 2023 ecovadis Sustainability Rating PLATINUM 2022 ecovadis Sustainability Rating SILVER 2021 ecovadis Sustainability Rating	EcoVadisサプライヤー評価で 最高ランクを取得 「PLATINUM」：鹿島工場、 AGC Pharma Chemicals Europe社 他国内外複数拠点で高評価
 Top 100 Global Innovator 2023 Clarivate	Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2023 に選定
 DX銘柄2023 Digital Transformation	「DX銘柄2023」に選定

発表日	内容
1月30日	グリーン水素製造に適したフッ素系イオン交換膜FORBLUE™ Sシリーズの製造設備を北九州市に新設
2月7日	取締役等に対する株式報酬の算定方法の改定について
2月7日	株主還元方針の変更に関するお知らせ
2月8日	新たな中期経営計画AGC plus-2026を策定
2月22日	投資単位の引下げに関する考え方及び方針等について
2月28日	ロシア事業の譲渡を完了
3月25日	太陽光パネルカバーガラスのリサイクル実証試験に成功
4月5日	建築用ガラスの環境製品宣言（EPD）を取得

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

The logo for AGC, consisting of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'A' and the 'G'.

Your Dreams, Our Challenge